

全国国立大学附属学校PTA連合会 2018年度団体表彰エントリーシート

所属学校名	大阪教育大学附属幼稚園		
PTA名称	大阪教育大学附属幼稚園PTA	会長名	生野照将
応募部門	事業部門		
事例名称	緑育・記念植樹		

9月4日の台風21号により、園庭の檜の木などのたくさんの樹木やフェンスが倒れ、大きな被害に遭い、3日間休園することになりました。園再開にあたり、倒れた樹木の撤去にたくさんの保護者が協力し、無事3日後園は再開しました。長年、子どもたちの成長を見守ってきた樹木で自然豊かだった園庭が様変わりしてしまい子どもたちと同様保護者も寂しさを感じました。そこで、新たに植樹ができないかといういろいろ検討しました。そして一般社団法人 日本植樹協会の「記念樹等贈呈」に応募申請し、また子どもたちに緑の大切さを知ってもらう機会として「緑育」の出前授業を同時に申請し、許可され、樹木の成長とともに子どもの大きな成長と明るい未来を願い、実施いたしました。

開催日：2019年2月27日(水曜日)
9時～11時30分



台風被害

かたづけ作業

参加者：園児・保護者・教職員 計約200名
植木協会の方9名来園

植樹樹木：桜3本 スモモ、くり、サクランゴ、もも、
はっさく、ミカン2本 計10本



緑育出前授業

出前授業では植木屋さんの仕事について、身の回りにある植木はどこから来るのか、また、植木はどのように育つのか、剪定は木の負担を減らすための役割があること、緑の大切さなどをわかりやすくお話ししていただきました。質問タイムでは子どもたちから植木に虫がついたらどうしたらいいのかなど、たくさんの質問があり、保護者からは植木の剪定はどれぐらいですべきかなどの質問がありました。終始、和やかな雰囲気で行われました。

その後、園庭で植樹の説明を植木協会の方にいただき、植木の植え方、水やりの方法や、これからの管理の仕方を教えていただきました。植樹後、保護者が手作りの樹木の名前のプレートをつけました。植樹協会の方からも記念プレートをいただき、終了しました。



植樹説明



植樹親子共同作業



保護者によるプレート制作



この活動を通して、子どもたちには樹木を大切にしようという気持ちや自分たちが植えた樹が10年後、20年後に大きくなり、さらに自然豊かな幼稚園になることへの期待の気持ちが育まれたのではないかと思います。また、この機会にこれからも継続して緑の大切さを一緒に育める活動ができればと思います。

※昨年度の受賞内容は、全附連のホームページで確認できます。<http://www.zenfuren.org/>